



【キイトルーダ+CBDCA+nabPTX療法について】
(ペムプロリズマブ+カルボプラチン+アルブミン懸濁型(nab-)パクリタキセル)



☺ **薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
アプレピタントカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服																					
生理食塩液	ルート確保用です	15分																					
ペムプロリズマブ注(キイトルーダ)	抗がん剤	30分																					
生理食塩液	洗い流し用です	15分																					
グラニセトン注 デキサメタゾン注(デキサート)	吐き気止めです	15分																					
生理食塩液	洗い流し用です	15分																					
nab-パクリタキセル注 (アブラキサン)	抗がん剤です	30分																					
生理食塩液	洗い流し用です	15分																					
カルボプラチン注	抗がん剤です	1時間																					
生理食塩液	洗い流し用です	15分																					

☺ **カルボプラチン+アブラキサン治療による副作用**

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
自覚症状	食欲不振・吐き気																						
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	筋肉、関節の痛み																						
		肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																					
	手足のしびれ																						
	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出る場合があります。																						
下痢																							
	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水のような便が出る時はお知らせ下さい。																						
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないください。																						
検査値	白血球減少(好中球減少)																						
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																						
	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																						
血小板減少																							
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																						

☺ **キイトルーダ(ペムプロリズマブ)の作用**

- 私たちの体の中では、免疫細胞が、がん細胞などの異常な細胞を攻撃、排除しています。
- しかし、がん細胞は免疫細胞の働きにブレーキをかけ、その攻撃から逃れる事が分かってきました。
- この抗がん剤は、免疫細胞の働きにがん細胞からのブレーキがかからないようにします。
- この結果、免疫細胞は攻撃力を取り戻し、がん細胞を再び攻撃する事ができるようになります。

☺ **キイトルーダ(ペムプロリズマブ)治療による副作用**

- 軽度の皮膚障害(発疹、かゆみなど)は、早期におこることが多いです。
- 注意を要する副作用の一部 (【】かつこ内は症状の例)
 - 間質性肺疾患【息切れ、息苦しい。咳が出る。発熱など】
 - 1型糖尿病【口が渇く。たくさんの水分が欲しくなる。尿の量や回数が増える。疲れやすい。体重が減る。吐き気、嘔吐。腹痛など】
 - 甲状腺機能障害【気力の低下。疲れやすい。まぶたが腫れぼったい。さむけを感じる。体重が増えるまたは減るなど】
 - 重症筋無力症【まぶたが下がったまま戻らない。物が二重に見える。手足に力が入らないなど】
 - 薬剤の注入に伴う反応(点滴中または投与後)【吐き気、嘔吐。注射部位のほてり、痛み。かゆみ。息切れ、息苦しい。発熱など】
- ・その他の副作用や副作用の詳細は、別にお渡しした説明冊子を参考にしてください。
- ・今後の外来での治療に際して、自宅での症状確認の参考としますので、お渡しした説明冊子の治療日記に記入して下さい。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。